

講義名	リーダーシップ養成B			授業形態	
担当教員	電谷 涼 / 田邊 良祐	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

本授業は、企業とコラボレーションして実施する。本年度のテーマは「人材不足」とし、特に「海事業界における、職人的な技術が必要な職種・業界における人材確保と人材育成」について企業と共に解決方法を考える。よりビジネスに近い場面を授業者は創出し、その環境の中で学生はリーダーシップを養成することが本授業の主たる目的である。

- 授業は具体的に3段階で進める。
- 【第一段階】リーダーシップの基礎とチーム作り、課題の提示とアイデアの創出
 - 【第二段階】創出したアイデアの妥当性の判断、プレゼンテーションの準備
 - 【第三段階】プレゼンテーションの実施と審査、講評

本学が目標とする「ビジネスパーソン」の育成に向け、特に以下の資質・能力等を重点的に育成することを旨とする。これにより、学内ではCAとして後輩学生のキャリアモデルとなるような人材の育成、学外では様々な場面でリーダーシップを発揮し、成果を出すことができる人材の育成を目指す。

到達目標

- リーダーシップ
 - ・チーム内で積極的に他者とコミュニケーションを取ることができ、成果を出すために積極的に行動することができる
 - ・自身のリーダーシップ場を理解し、今後その強みを磨いていくための課題と具体的な行動計画を説明することができる
- 資源の活用
 - ・ヒトモノカネの資源の状況を的確に理解することができ、その資源を課題解決に向けて活用することができる
- 柔軟な発想
 - ・課題の解決に向けてこれまででない新たな解決方法や視点を提示することができる
 - ・課題の状況を的確に判断、理解し、具体的に実行可能且つ実現可能なアイデアを創出することができる
- 協働性
 - ・課題解決に向けてチームで協働することができる
 - ・課題解決に向けてチーム以外の人間と協働することができる

提出課題

- ・個人で作成するポートフォリオ
- ・成果発表に用いた成果物
- ・まとめのレポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

本授業は一部集中講義で行われる。授業内に机間指導を行い、適宜口頭にて進捗状況の確認と助言を行う。全体で共有したほうが良い内容については、授業内で全体に対してフィードバックを行う。

評価の基準

- ・授業終了時に個人が作成するポートフォリオ 45%（15点×3回）
- ・成果の発表に用いた制作物とその作成への貢献や取組状況 45%
- ・まとめのレポート 10%

履修にあたっての注意・助言他

本授業では、授業資料のやり取りはMicrosoft Teamsを介して行い、また積極的に生成AIを活用する。よって、ラップトップ（ノートPC）やタブレットを保持する学生は、毎授業持参することを強く推奨する。本授業は集中授業、かつ授業内容はアクティブラーニングの方法によって展開する。よって、授業へ3分の2以上出席（11回以上出席）したものが単位認定を行う対象となる。それ以外は放棄とみなす。遅刻・欠席の取扱い等については、初回の授業ガイダンスにて詳説する。また、初回授業にてグループを編成する。初回授業に欠席する場合は事前に連絡すること。連絡がない場合は授業を放棄したものとみなす場合があるので注意すること。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.なし。					

その他

適宜授業資料を配布する。

授業計画

授業は一部集中授業で実施する可能性がある。詳細はガイダンスで説明する。

- 第一段階
1. 授業ガイダンスと自己分析
 2. リーダーシップとコミュニケーション
 3. チームづくり
 4. 課題設定の説明
 5. アイデア創出：1日目のまとめ
- 【予備】
- ・チームビルディングやアイスブレイクの方法の検討と資料の作成 3時間
 - ・これまででキャリアにおいて立ち当たった最大の課題とその克服方法に関するレポート作成 3時間
 - ・「人材不足・人材育成」に関する日本の現状とその解決方法に関するレポートの作成 4時間
 - ・海事業界を理解するためのレポートの作成と課題の整理 2時間
 - ・シラバスを読み第一段階の行動計画の策定 5時間
 - ・授業内容についてFIT（FITについてはガイダンスで説明）で整理しポートフォリオを作成 3時間
 - ・第一段階の課題の整理 3時間
- 第二段階
6. アイデアの整理
 7. アイデアの具体化
 8. アイデアの引き合いの検証
 9. アイデアを実行するかどうかの判断
 10. プレゼンテーションの構想、第二段階目のまとめ
- 【予備】
- ・講義を基に「リーダーシップ」に関して整理する 3時間
 - ・創出されたアイデアの妥当性の検証 3時間
 - ・より良いアイデアの創出に向けた成功事例・失敗事例の探索 3時間
 - ・シラバスを読み第二段階の行動計画の策定 5時間
- 【備忘】
- ・授業内容についてFIT（FITについてはガイダンスで説明）で整理しポートフォリオを作成 3時間
 - ・第二段階の課題の整理 3時間
- 第三段階
11. プレゼンテーションの作成
 12. プレゼンテーションの改善
 13. チームの成果発表
 14. チームの成果発表の続きと企業からの講評
15. 全体まとめ
- 【予備】
- ・プレゼンテーション内容の構想 3時間
 - ・プレゼンテーション方法と構成の構想 5時間
 - ・第三段階に必要な文献等の収集と整理 3時間
- 【備忘】
- ・授業内容についてFIT（FITについてはガイダンスで説明）で整理しポートフォリオを作成 3時間
 - ・グループリテック（授業最終日に提示）とポートフォリオを用いた省察と今後の行動計画の作成 3時間
 - ・授業のまとめのレポートの作成 3時間

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本学のディプロマ・ポリシーについて、「本学がのびのびへこたれず」の精神をもった人材、「知識を知識に転換することができる、論理的思考力を持った人材」、「仲間と協働して、物事を成し遂げることができる人材」と関連する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

この授業は学生相互、教員と学生相互のコミュニケーションが顕著に行われる。グループの意思決定や合意形成に消極的な態度は歓迎されない。この科目と共に前期の科目である「リーダーシップ養成A」も受講し、「自己発見とキャリア開発」のCA業務を行う能力の向上を強く期待している。来年度入学生が本授業の受講生の姿をみて憧れを抱くようになる人になってほしいと願う。